

南武線・鶴見線 要望項目一覧(13件)

輸送力増強	2
1 輸送計画の改善	
< 運転本数の増発等 >	
(1) 南武線の増発、車両の増結、快速運転(継続)	
(2) 南武支線の増発(継続)	
(3) 鶴見線のダイヤ改善等(継続)	
< 他路線への乗入れ >	
(4) 南武支線の川崎駅への乗入れ(継続)	
利便性向上	3
1 駅施設等の整備	
(1) 矢向駅の改札機の増設(継続)	
(2) 武蔵小杉駅下りホームの混雑対策(継続)	
(3) 武蔵中原駅の混雑対策(継続)	
(4) 武蔵溝ノ口駅における安全性の確保(継続)	
(5) 津田山駅ホームの屋根の増設等(継続)	
(6) 鶴見駅の混雑対策(継続)	
(7) 老朽駅舎等の改良(継続)	
(8) 改札口の新設(継続)	
(9) 中野島駅ホームの改良(継続)	

輸送力増強

1 輸送計画の改善

< 運転本数の増発等 >

(1) 南武線の増発、車両の増結、快速運転（継続）

南武線については、平成 26 年 10 月から新型 E233 系車両が順次投入され、輸送力増強が図られているところですが、南武線は川崎市を縦貫し、川崎市民にとって最も重要な交通機関でありますので、立川行き最終電車の繰下げ、増発・車両の増結（長編成化）、快速運転の朝・夕の導入等、利用者の利便性の向上と輸送力増強に向けた取組みを引き続き推進されますよう要望いたします。

（川崎市総合都市交通計画）

(2) 南武支線の増発（継続）

臨海部では、新たな企業立地等が進んでおり、今後も従業員の増加が見込まれているため、南武支線は、川崎臨海部への通勤者にとって重要な交通機関となってきます。また、沿線地域では、大規模工場跡地等に大規模住宅施設が建設され、多くの沿線住民、学生等にとって重要な交通機関となっております。現在、新駅設置に向けた取組みが行われているところですが、利便性向上に向けて運行本数についても増発されるよう要望いたします。

(3) 鶴見線のダイヤ改善等（継続）

鶴見線は、沿線の通勤・通学者や住民にとって大切な交通手段であります。平成 21 年 3 月のダイヤ改正により、支線を中心に日中大幅に減便され、立地企業から大変不便であるとの声が寄せられています。

ついては、ラッシュ時の輸送力を確保するとともに、減便された区間について、ダイヤ改正前の運転本数を確保されるよう要望いたします。

< 他路線への乗入れ >

(4) 南武支線の川崎駅への乗入れ（継続）

南武支線は川崎臨海部への通勤者にとって重要な交通機関であるとともに、沿線地域に建設された大規模住宅施設には、東京都心や横浜方面へ通勤する住民が多く、路線バスや自転車によって、川崎駅にアクセスする交通が非常に多くなっています。

ついては、通勤経路に多く使用される路線が停車する川崎駅へ乗り入れられるよう要望いたします。

（川崎市総合都市交通計画）

利便性向上

1 駅施設等の整備

(1) 矢向駅の改札機の増設（継続）

矢向駅周辺では、近年、従前にあった事業所から新たに都市型住宅や研究施設等へと土地利用転換が進んだことに伴い、当駅乗降客数は平成 16 年度まで緩やかな減少を続けておりましたが、平成 17 年度に大きく増加に転じてから、その後は増加傾向であり、朝のラッシュ時における改札口は非常に混雑しておりますので、改札機を増設されるよう要望いたします。

(2) 武蔵小杉駅下りホームの混雑対策（継続）

武蔵小杉駅については、朝夕のラッシュ時の下りホームは、歩列を 4 列にしても、なお混雑が解消されておらず、ホームドア未設置のため転落等も起こりうる状況と見受けられます。駅利用者も増加傾向にあるため、安全性の確保、利便性向上の点から、新規改札口設置等の適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。

(3) 武蔵中原駅の混雑対策（継続）

ラッシュ時の改札口は、改札口へ向かう利用者と、改札口を出て連絡歩道橋へ向かう利用者が交錯し、混雑している状況です。

ついては、ラッシュ時の改札口付近の歩行者動線が交錯しないよう、適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。

(4) 武蔵溝ノ口駅における安全性の確保（継続）

武蔵溝ノ口駅は、コンコースから上りホームまでの通路及び階段の幅員が狭く、朝のラッシュ時には階段を昇降する乗客で著しく混雑している状況となっております。

貴社のご尽力により、平成 16 年 7 月より上りホームが延伸され、このような状況が一部緩和されましたが、引き続き利用者の安全性確保と移動の利便性向上のため、上りホームの階段拡幅等の安全対策を実施されるよう要望いたします。

(5) 津田山駅ホームの屋根の増設等（継続）

津田山駅はホーム屋根が短いため、雨天時の乗降において足元が滑りやすい状況であり、利用者は不便を感じております。ついては、ホーム全体を覆うように屋根を増設されるよう要望いたします。

(6) 鶴見駅の混雑対策（継続）

鶴見線鶴見駅については、ラッシュ時のホームは乗客であふれ、著しく混雑している状態となっております。

列車と乗客との接触事故も懸念されることから、安全性の確保の点からも、京浜東北線ホームも含めて駅全体の適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。

(7) 老朽駅舎等の改良（継続）

バリアフリー化等の施設改善にあわせ、老朽施設の更新や利用者の利便性向上の観点から、駅舎、跨線橋、トイレ等の駅施設の改良を早急を実施されるよう要望いたします。

また、車いすやベビーカー利用者等が容易に利用できる拡幅改札口の増設と、鶴見線のトイレが無い駅についてのトイレ設置を要望いたします。

(8) 改札口の新設（継続）

南武線については、改札口が片側にしかない駅がありますが、利用者は駅の横にある踏切を横断しなくてはならず、大変不便でかつ著しく混雑している状況となっております。

利用者の安全性確保と利便性向上のため、向河原駅西側、平間駅西側に改札口を新設されるよう要望いたします。

南武線駅アクセス向上策案の対象駅については、整備されるまでの間は、次の位置に改札口を新設されるよう要望いたします。

- ・久地駅南側、宿河原駅北側、中野島駅北側

(9) 中野島駅ホームの改良（継続）

中野島駅は乗降客数が近年増加傾向にあります。ホームが大変狭く、混雑時には大勢の人であふれて著しく混雑している状況となっております。

ついでには、利用者の安全確保の観点から、改札口付近の滞留スペースや下りホームの一部を拡幅されるよう要望いたします。